

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	単位認定者
専門分野Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ	2	90	3年次	4月	石井美香子

実習概要

生命の危機的状況にある患者への看護について、救命救急センター（病棟・外来）及びICUにおいて学習する。まず、患者の病状を踏まえ、生体がどのような反応を示しており、今後どのような経過をたどるのかを予測しながら、援助を展開する。また、急激な健康状態の変化により身体的苦痛だけでなく、精神的にも社会的にも苦痛を生じているため、そのような危機的状況にある患者やその家族についての理解を深め、急性期における看護について学習する。

科目目標

生命の危機的状況にある対象を理解し、クリティカルケア、生命維持・回復過程を促進する看護を個人及び家族に実践する能力を養う。

実習計画

実習場所・時間	内容及び方法
救命救急センター病棟 45時間	<p>生命の危機的状態にある対象に生じている病態や治療を理解し、関連図を用いながら、対象に生じた生体侵襲と、それによって生じている反応について整理する。また、対象や家族の心理社会的問題についても把握する。そして、現在、対象に生じている、または今後生じること状況について予測される問題を考える。</p> <p>対象の状況に応じて、援助計画を立案し、実践する。実践内容を評価し、翌日の看護に活かす。</p> <p>家族のかかえる心理社会的問題に着目し、実習中に関わった家族との場面、看護師が対応している場面等の事例を通して、対象の家族への看護についてカンファレンスで検討する。</p>
ICU病棟 30時間	<p>人工呼吸器管理や救命治療を受けている対象1名を受持ち、指導者と共に援助を行う。看護の実際を見学し理解するとともに、関連図を通して対象理解をする。</p> <p>日常生活の援助は指導を受けながら一緒に行う。3日目に日常生活に関する援助について計画を立案し、検討後実習3～4日目に実施する。人工呼吸器、輸液ポンプ・輸注ポンプ、救急カートなどについて計画的にオリエンテーションを受ける。</p>
救急外来 15時間	<p>看護師に同行し、救急搬送された対象と家族への対応及び援助がどのようにされているかを理解する。救命救急センターの役割を理解し、救急搬送された対象の受け入れ体制、医療チーム、救急隊との連携について理解する。</p> <p>対象に応じた継続看護について理解する。</p>
備考	